

シグナルマークについて

シグナルマークは危険のレベルを表します。それぞれのマークの内容をよくご理解頂いた上で必ず記載の注意事項を守ってください。

△警告 — 取扱いを誤った場合に、**死亡・重傷の危険が発生する可能性があります。**

△注意 — 取扱いを誤った場合に、**軽傷を負うか、物的損害を負う危険が発生する可能性があります。**

積載物と積載物の制限について

△注意 最大積載重量は60kgまでです。過積載は絶対に行わないでください。
使用状況によっては60kg未満でも屋根の変形及び、キャリアが破損する場合があります。
また過酷な使用、制限を超える積載を行うことにより60kg未満でも積載能力は変化し低下いたします。

△注意 本製品は荷物用の積載キャリアです。次の物は積載しないでください。
[スキー板・ストック・スノーボード・サーフボード・自転車・コンテナ・ウィンドサーフィン
ポール・ブーム・ボート・カヌー・カヤック]

△注意 下記の大きさを超える荷物は積載しないでください。又積載物がキャリアからはみ出す場合は、
はみ出し量は前後均等にはみ出すようにしてください。

品番	積載物の制限(単位=mm)		
	長さ	幅	高さ
SA-40	3090	1500	600



取扱い上の注意

△警告 走行前には必ず、各締付け部にユルミが無いかを点検してください。

→締付け部にユルミがあると、思わぬ脱落事故を起こします。

△警告 初期ユルミが発生しますので、初回30キロ走行後には必ず各締付け部を増締めしてください。

△警告 キャリアの装着時は特に法定速度を守り、急発進・急ブレーキ・急ハンドル等の過酷な避け、悪路では徐行してください。

△警告 走行中にキャリアからガタツキ音等の異常音が聞こえた場合は速やかに停車しキャリアの状態を確認してください。

△注意 積載物をキャリアに固定する際は“脚部”を利用してロープ等で固定しないでください。

→脚部に集中的に大きな負担がかかり、脚部のネジ取付け部に緩みが発生し破損及び脱落の原因になります。

△注意 積載物の重量の配分はどちらか(左右)に片寄らないようにしてできるだけ均等に平坦に積載してください。
→積載物が片寄ってしまうと運転に支障が生じたり、キャリアにも変則的な力がかかり破損や脱落事故の原因になります。

△注意 積載物をキャリアから載せたり、降ろしたりする際はキャリアに衝撃がかからないようにゆっくりと行ってください。

→強い衝撃[集中的荷重]がかかることによりキャリアの破損及び脱落の原因になります。

△注意 キャリアからはみ出す長尺物を積載した状態でバックドアを開けないでください

→バックドアのガラス面が当たり破損の原因になります。

△注意 キャリアの装着及び荷物を積載して走行する場合は車高が高くなる為、運転特性が変化します。
運転は十分ご注意ください。

又、駐車場・高架等の高さ制限のある場所を通過する場合にも十分ご注意ください。

海外使用について

本製品は、日本国内使用専用となります。海外(他国)使用により発生した際の品質保証は一切お受けいたしておりませんのでご注意ください。(対外規格は取得しておりません。)また万一の事故、損害等のあらゆる責務に対しても、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承願います。

事故が起きたときは

製品の欠陥などにより万一事故が発生した時は速やかに販売店又は弊社までご連絡ください。

事故対応をスムーズに行うためにお客様には以下の事をお願いします。

(1)事故製品の確保・・・事故発生時のままの状態のもの(製品をバラしたりしない)

(2)損害の内容・・・損害を受けた現物、また損害を証明できるもの

(3)事故発生状況・・・日時、場所、事故発生状況、公共機関への届出(事故届、紛失届)
(いつ・どこで・何が・どのように)

お客様の誤った組立て、取付け、使用による事故等の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

Rocky+ ロッキープラス株式会社

〒463-0025 名古屋市守山区元郷2-107 TEL(052)778-7876 FAX(052)778-7718

HP <https://www.rocky.ne.jp> E-mail rocky@rocky.ne.jp

202511

ROCKY ROOF CARRIER

S Aシリーズ 取扱い説明書

品番 / SA-40 ハイエースバン・レジアスエースバン専用

この度は、ロッキールーフキャリア「SAシリーズ」をお買い上げいただきありがとうございます。
常に安全な状態でご使用して頂く為に「取扱い説明書」をよくお読みの上正しくご使用ください。

尚、販売店にて本製品を取付けられましたら本書を必ずお客様にお渡しください。

製品(組立て・取付け等)についてご不明な点はお買い求めの販売店又は、弊社までお問い合わせください。

誤った組立て、取付け、使用による事故の責任は一切負いかねますのでご了承願います。

ご使用前に

△警告 本製品は、トヨタ/ハイエース・レジアスエースバン(200系/標準ボディ・標準ルーフ)専用キャリアになります。他の車両には取付けないでください。

△警告 本製品の改造は絶対に行わないでください。

本製品の改造による事故責任は一切負いかねます。

「例」 部品類の穴あけ加工・溶接

市販品のアタッチメントを使用して荷物(スキー・自転車)等の積載

本製品以外の部品による組立て及び、部品交換

荷受部の全面に合板等を敷く・看板等の取付け

△警告 部品不足での使用は絶対に行わないでください。

△注意 キャリアを取付けた状態で洗車機にかけないでください。

キャリアに無理な力がかかり、ルーフの変形等の損傷を車に与えます。

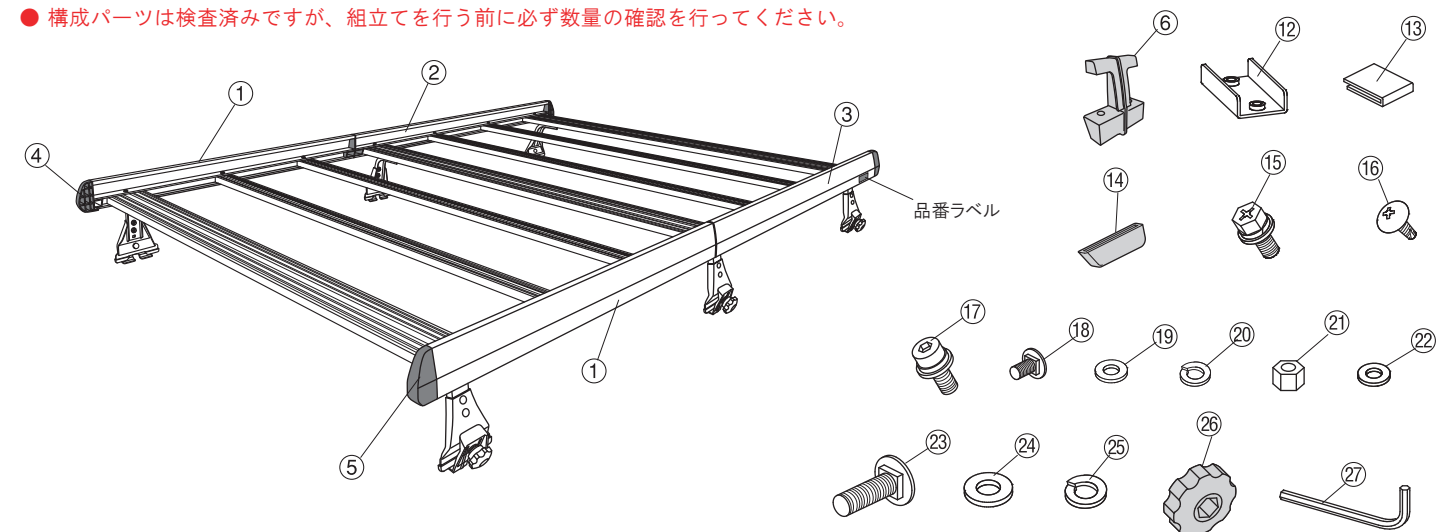
△注意 本製品には積載物の制限があります。制限を超える物は絶対に積載しないでください。

又、積載物がキャリアから、はみ出す場合は、はみ出し量は前後均等に積載してください。

裏面、「積載物と積載物の制限について」「取扱い上の注意」をよくお読みください。

構成パーツ

● 構成パーツは検査済みですが、組立てを行う前に必ず数量の確認を行ってください。

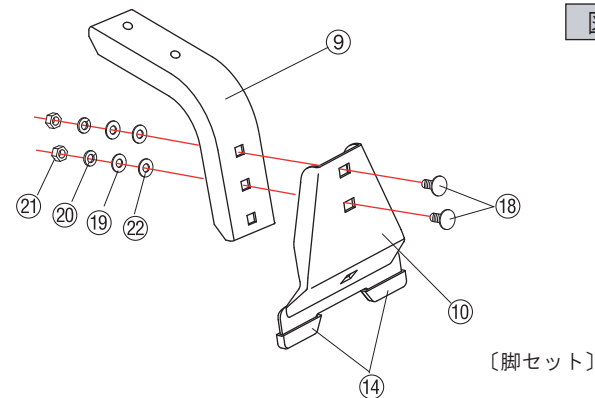


No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量	No	部品名称	数量
①	サイドフレーム(前)	2	⑨	脚ステー	6	⑰	キャップボルトセットM6	12	②⑤	バネ座金 M8	6
②	サイドフレーム(後右/注意ラベル付)	1	⑩	インナークランプ	6	⑱	角根ボルト M6	12	②⑥	締付ノブ	6
③	サイドフレーム(後左/品番ラベル付)	1	⑪	アウタークランプ	6	⑲	平座金 M6	12	②⑦	L型レンチ	1
④	先端キャップ (R)	2	⑫	ナットプレート	6	⑳	バネ座金 M6	12	【注1】 取扱説明書の数量は総数を記載しております。 ②② ナイロンワッシャーは使用箇所に分れて 入っていますのでご注意ください ②③ お願い致します。		
⑤	先端キャップ (L)	2	⑬	ゴムパッキン	12	㉑	六角ナット M6	12			
⑥	中間ジョイント	2	⑭	インナー保護キャップ	12	㉒	ナイロンワッシャー 注1	24			
⑦	デッキ脚フレーム	3	⑮	六角ボルトセットM6	18	㉓	角根ボルト M8	6			
⑧	荷台フレーム	4	⑯	タッピングビス5ミリ	4	㉔	平座金 M8	12			

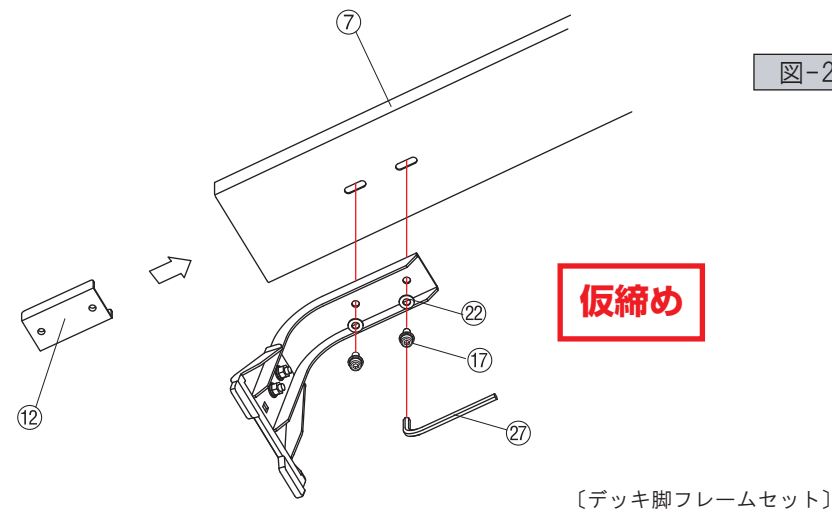
組立て方法①

- 1 ⑩インナーランプの下端に⑭インナー保護キャップをはめます。
⑨脚ステーと⑩インナーランプを⑱角根ボルトM6、⑳ナイロンワッシャー、㉑平座金M6、㉒バネ座金M6、㉓六角ナットM6にて締付けます。〔図-1〕

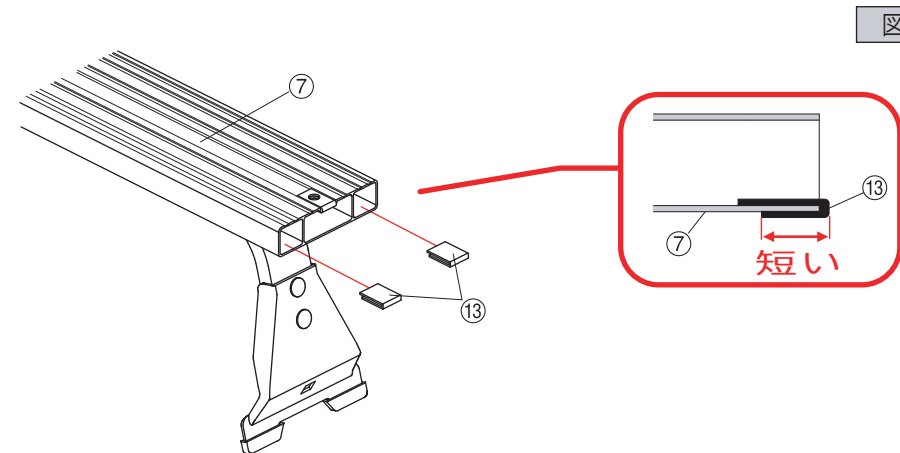
締め過ぎ
注意



- 2 ⑦デッキ脚フレームの中央穴に⑫ナットプレートの向きに注意して通し、「1」で組立てた脚セットを⑫ナイロンワッシャーと⑬キャップボルトセットM6を⑭L型レンチにて仮組付けします。〔図-2〕
※車両に取付ける際にキャリア幅の微調整を行う為、仮締めの状態にしてください。



- 3 ⑦デッキ脚フレームの両端下面に⑬ゴムパッキンをはめます。
この時、⑬ゴムパッキンはベラの短い方が下になるようにしてください。〔図-3〕

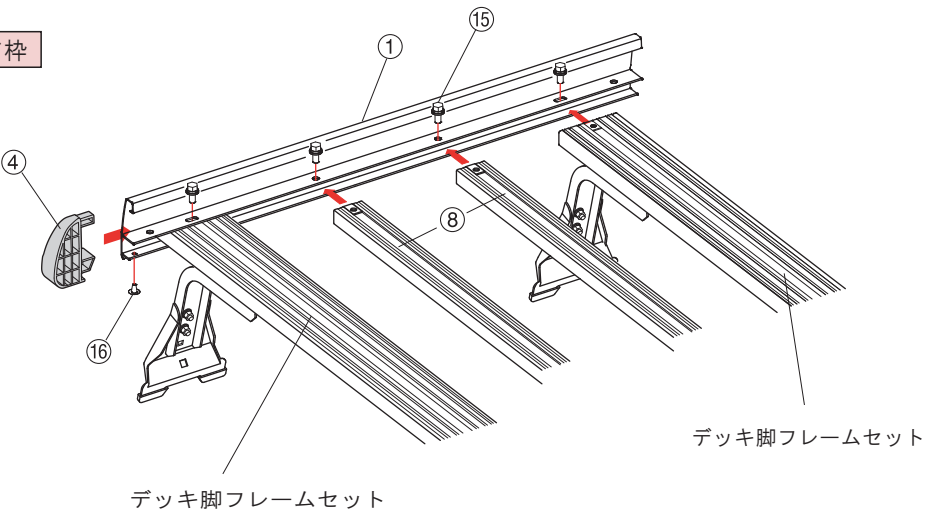


組立て方法②

- 4 ①サイドフレーム(前)に「2」で組立てた「デッキ脚フレームセット」と⑧荷台フレームを⑮六角ボルトセットM6にて組付け①サイドフレーム(前)の先端(前側)に④⑤先端キャップをはめ込み下から⑯タッピングビス5ミリで固定します。〔図-4〕

△注意 「組立て方法 3」で⑦デッキ脚フレームに組付けた、⑬ゴムパッキンは異音防止効果がある為、必ず組付けた状態で①②③サイドフレームに差込んでください。硬くて差込み難い場合は⑬ゴムパッキンとサイドフレームに中性洗剤を塗ると差込みやすくなります。

前用キャリア枠



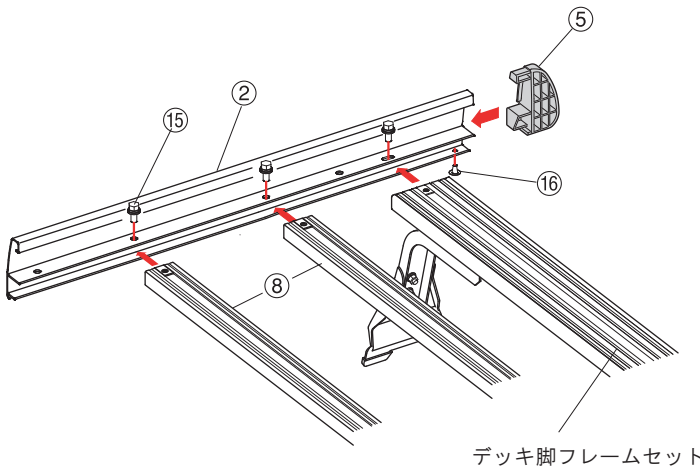
アシストローラー(AR-01/オプション)を同時に取付ける場合はここから先は「AR-01/取扱い説明書」の手順に沿って取付けを行ってください。

・取付けされない場合はそのまま「組立て方法 5」にお進みください。

- 5 「4」同様に②③サイドフレーム(後/左右)に⑧荷台フレームと「デッキ脚フレームセット」を⑮六角ボルトセットM6にて組付け、②③サイドフレーム後端に④⑤先端キャップをはめ込み下から⑯タッピングビス5ミリで固定します。〔図-5〕

△注意 ②サイドフレーム(後右/注意ラベル付)が、右側(運転席側)の後方になります
③サイドフレーム(後左/品番ラベル付)が、左側(助手席側)の後方になります

後用キャリア枠



組立て方法③

- 5 「組立て方法② 4.5」で組立てた“前用キャリア枠”と“後用キャリア枠”を⑦ジョイントでつなぎ合わせ、⑰六角ボルトセットM6でしっかりと固定します。〔図-6〕

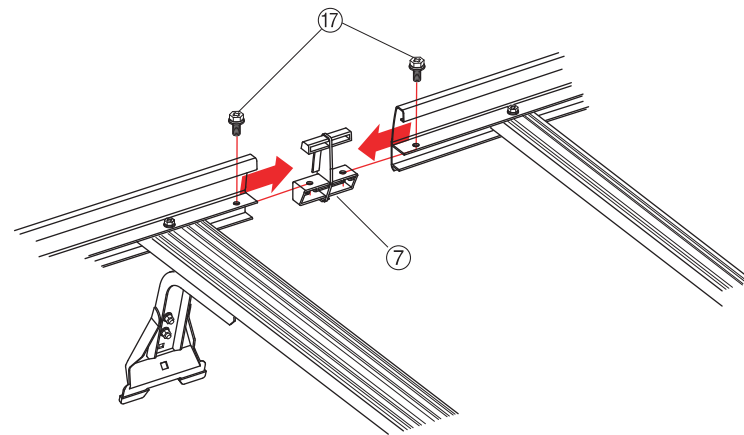


図-6

取付け方法①

- 1 「組立て方法③」で組立てたキャリアを車両後方からゆっくりと雨ドイに載せ、雨ドイの後端より前方へ100ミリのところに⑩インナークランプの端がくるように調整を行います〔図-7〕

△注意：キャリアを屋根に載せる際は必ず「4人以上」でゆっくりとキズをつけないように慎重に行ってください

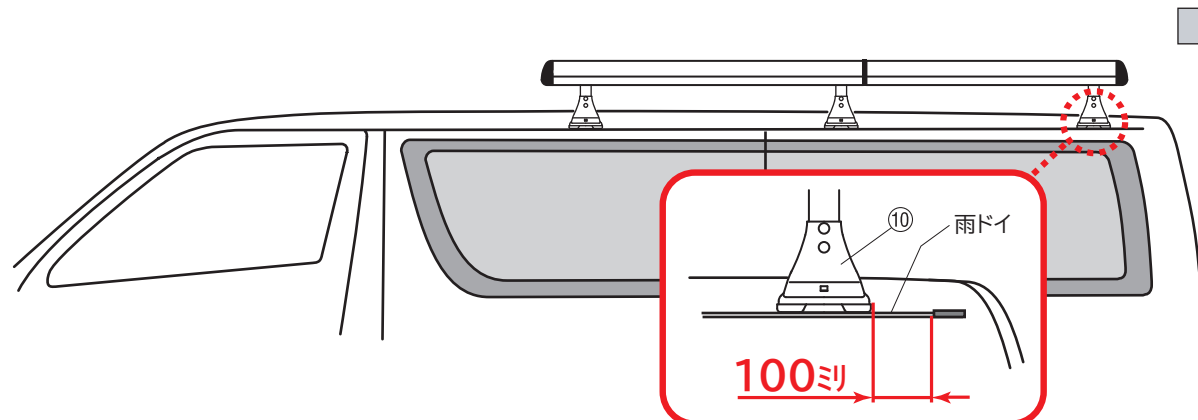


図-7

- 2 ⑩インナークランプの下端が雨ドイのルーフ側(内側)に寄せた状態にしておきます〔図-8-A〕
調整後、「組立て方法①・2」で仮締め状態の⑰キャップボルトセットM6を⑳L型レンチでしっかりと締付けます。〔図-8-B〕

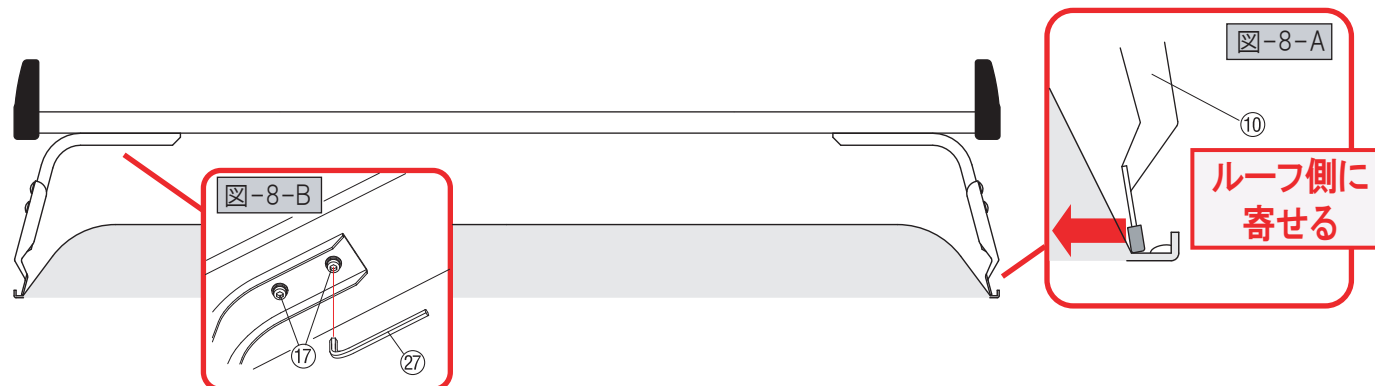


図-8

取付け方法②

- 4 ⑩インナークランプの下端がルーフ側(内側)にある事を再確認し〔図-8-A〕⑩インナークランプの角穴の裏から⑳角根ボルトM8を通し㉑アウタークランプを雨ドイにかませ、㉒平座金M8、㉓バネ座金M8、㉔平座金M8、㉕締付ノブの順でしっかりと締付けます。締付けの際は⑩インナークランプを手前に引き寄せるような感じで締付けを行い、6か所均等に締付を行ってください。〔図-9〕
※手前に引き寄せることによって㉑脚ステーに「ハリ」ができルーフキャリアの剛性が増します。

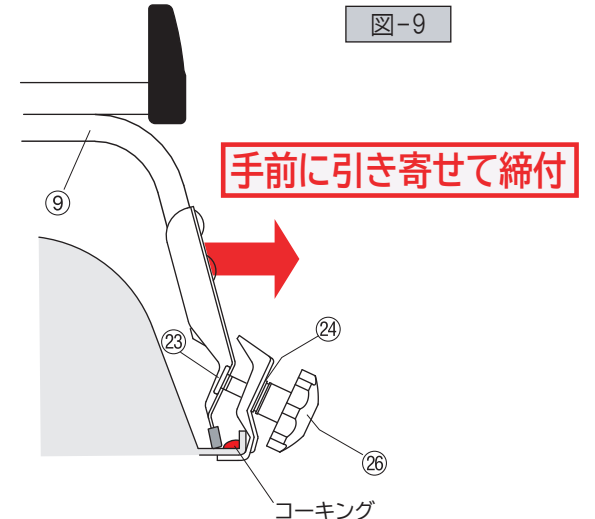
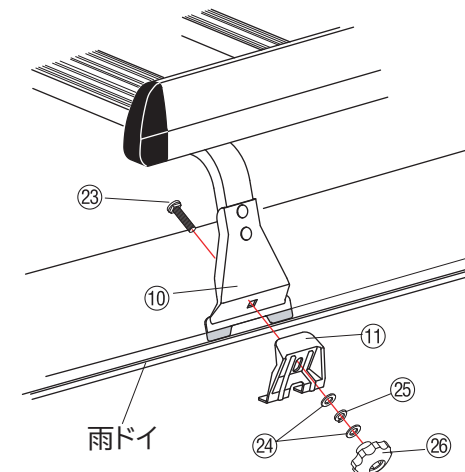
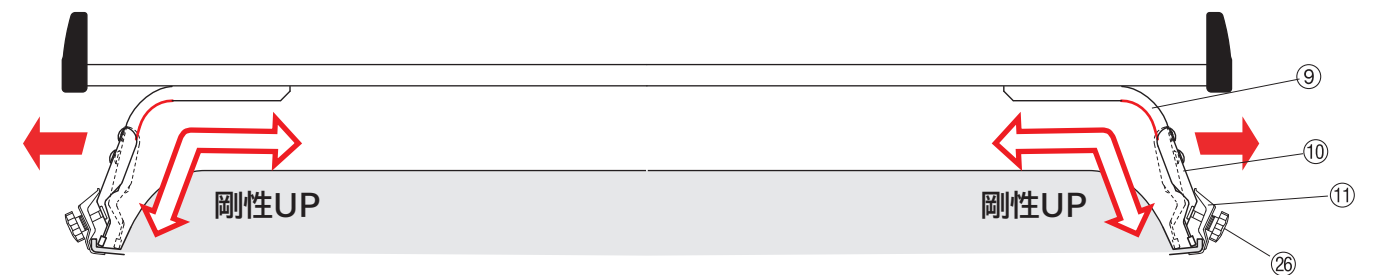


図-9

△補足説明 キャリアの脚部に「ハリ」が無いとキャリア全体の強度不足で、走行時に“ぐらぐら”と揺れ動く傾向があります。その結果、㉑脚ステーや⑩インナークランプに負担がかかり、やがて金属疲労による「クラック」「折れ」の原因や車両締付け部(㉑アウタークランプ、㉕締付ノブ等)の緩みによる部品脱落も考えられます。よって、キャリア脚部の「ハリ」が常に保たれている状態が理想となります。



ポイント：「ハリ」が常に保たれている状態が理想

△注意:キャリア取付け後の確認を！！

- ・キャリアを前後左右に揺すり「ズレ」や「ガタツキ」が無い事を確認してください。
- ・キャリアを手のひらで数ヶ所叩いて、各締付け部にユルミがないかを確認してください。ユルミがある場合は「ビビリ音」がします。
- ・キャリアを取付けた初期段階では初期ユルミは必ず発生します。しばらくの間は定期的に締付部の増締めを習慣に行ってください。しばらくすると車両とキャリアが馴染んできて締付部は緩まなくなります。